

【 令和6年第4回定例予算特別委員会 】

【 ホッカイドウ競馬について 】

今シーズンのホッカイドウ競馬は4月17日に開催し、11月7日に84日間の開催日程を終了しました。

今年度も発売額が500億円を超えるなど、引き続き好調に推移していますが、来年度以降も発売額を維持拡大できるよう、人手不足や老朽化した施設などの課題を解決し、新たなファンサービスの検討などを不断に行っていく必要があると考えます。

以下、ホッカイドウ競馬の今後に向けて、伺います。

(一) 今シーズンの結果概要について

はじめに、今シーズンのホッカイドウ競馬開催結果の概要について伺います。

(答弁：農政部競馬事業室参事 庄司好明)

・今年のホッカイドウ競馬は、4月17日から11月7日までの間、84日間開催し、発売額は543億6567万円と前年より30億8476万円の増となったほか、1日当たりでも、6億4721万円と前年を2183万円上回り、いずれも過去最高額

となった。

・競走数は、981 レースと前年より 1 レース少なく、出走頭数は、9640 頭と 171 頭少なかったため、1 レース当たりの出走頭数では、9.8 頭と前年より、0.2 頭少なくなった。

・門別競馬場の入場者数は、58339 人と前年より 2334 人増加したところ。

(二) 要因などについて

ただいま好調な結果であったとの説明をいただきましたが、その要因について、どのように分析しているのか伺います。

(答弁：競馬事業室参事 庄司好明)

・今年の前年に比べ開催日数が 2 日間多かったこと、インターネット発売が 9 割以上を占める中、JRA の発売システムでの発売日数が 4 日間増えたことに加え、南関東地域のスポーツ紙や競馬専門紙へのレース情報の掲載拡大、賞金・諸手当の拡充や重賞競走の新設などレース番組の充実が大きな要因と考えている。

・加えて、公式 YouTube 番組のチャンネル登録者数が登録キャンペーンなどにより 2 万 4 千人を超えたほか、公式 LINE 登録者が 1 万 8 千人を超えるなど、インターネット発売に対応した情報発信の取組の効果もあり、発売額の拡大や本場入場者数の増加に繋がったと考えている。

(三) 出走馬の確保について

発売額については、好調に維持されていますが、年間レース数や出走頭数が前年を下回っています。

今後とも発売額を確保するためには、出走馬の確保が重要と考えますが、特に冬期間競馬を実施していない中で、出走馬確保に向けどのように取り組んで行くのか伺います。

(答弁：競馬事業室参事 庄司好明)

・ホッカイドウ競馬は、冬季間、競馬が開催できないことから、閉幕後、多くの 2 歳馬が他の競馬場に移籍するため、春先の 3 歳馬確保が課題となっている。

・このため、道では、馬主に対し 3 歳馬までホッカイドウ競馬に所属することを条件に、市場で購入する馬の補助、他の

競馬場に移籍しない馬の保留手当、他の地方競馬に出走する輸送費と出走奨励金を支給しているところ。

・さらに、他の競馬場に所属していた馬が、ホッカイドウ競馬に所属する際、他の競馬場からの輸送費の補助などを行っているところ。

・引き続き、こうした各種対策を一層推進するなど出走馬確保に努めてまいる。

(四) 騎手やきゅう務員などの確保について

様々な分野で人手不足が進む中、ホッカイドウ競馬においても騎手やきゅう務員などの確保に苦勞しているとお聞きしていますが、道としては、どのように取り組んで行くのか伺います。

(答弁：競馬事業室長 安田貞彦)

・競馬事業を安定的に運営するためには、調教師や騎手、きゅう務員などの人材確保が重要。

・道では、騎手養成センターへの勧誘活動や新人騎手に対する支度金の支給、冬季間の騎手、きゅう務員に対する特別手

当に加え、優秀な調教師や騎手、きゅう務員の表彰や、外国人きゅう務員に対する、日本語講習会や生活相談などに取り組んできた。

・今後とも、こうした各種対策を進めるとともに、きゅう舎や住居などの施設整備を計画的に行うなど、安全で安心して生活し、業務に従事できる環境づくりを通じ、安定的な人材確保に努めてまいる。

(五) 基幹施設整備について

門別競馬場の施設整備については、令和 9 年度末の完了を目指し、計画的に進めていると承知していますが、今年度のきゅう舎地区の施設整備について、現在までの進捗状況と今後の門別競馬場の基幹施設整備の見込みについて伺います。

(答弁：競馬事業室長 安田貞彦)

・道では、『第 3 期北海道競馬推進プラン』に基づき、『きゅしゃ』、『業務』、『住居』のエリアに区分し、きゅう舎関係者が住みやすく、働きやすい職場環境、効率的な施設配置など、

競馬の公正確保が図られるよう、令和9年度末の完了に向けて、整備を進めているところ。

- ・きゅう舎エリアについては、用地造成や敷地内の道路整備を行うとともに、現在、きゅう舎や飼料倉庫といった建物の基礎工事を進めているところ。

- ・業務エリアについては、整備内容の精査や競馬関係者から意見を伺いながら、実施設計に取り組むとともに、住居エリアについては、設計や施工方法の検討を行っているところ。

- ・引き続き、令和9年度末の完了を目指し、門別競馬場の計画的な施設整備を進めてまいる。

(六) 今後の取組みについて

ホッカイドウ競馬が来年度以降も好調な馬券の発売額を維持していくためには、今こそ、人材不足や老朽化した施設整備などの課題の解決に取り組む、将来に備えるべきだと考えます。

今後の競馬の安定的な開催に向け、どのように取り組んで行くのか伺います。

(答弁：農政部長 水戸部裕)

・ホッカイドウ競馬は、地域の雇用や経済を支える重要な役割を果たしており、今後とも多くのファンに支持されながら、発展していくことが重要と認識。

・今年は、ファンの皆様、関係者の皆様のご支援・ご協力により、発売額も過去最高となったところ。

・道としては、こうした結果に甘んじることなく、インターネット発売に対応した情報発信の強化、新たなファンの掘り起こしや発売拡大により一層取り組むとともに、施設の効率的な配置や、働きやすい環境づくりに向けて、競馬場の基幹施設の整備を計画的にすすめ、時代の変化に対応し、将来にわたって安定的な競馬事業の運営が図られるよう取り組んでまいり。